

ごあいさつ

神戸親和女子大学長
大学院文学研究科長

山 根 耕 平

大学院研究紀要第二巻が丸島令子先生の退職記念号として発刊されることになりました。大学として、先生のこれまでの大学院教育研究に対する多大な功績を称えての発刊です。また、本研究紀要には、各教員の日頃の研鑽と研究成果が先生への感謝の意味をこめて掲載されています。

さて、本学大学院文学研究科は、心理臨床学専攻と教育学専攻の2専攻からなり、平成14年に開学しまして、すでに60名の修了者を世に輩出いたしました。それぞれの分野で活躍しています。また、教員として活躍するものも少なくありません。とくに、心理臨床学専攻の第1期生は、今年度11名の者が臨床心理士資格試験に挑戦し、そのうち8名が合格し、4月より臨床心理士として社会で活躍します。大学としても、学生たちの頑張りとお熱意ある先生方の指導に敬意を表するとともに感謝いたします。

なかでも、丸島先生には、ここ2年、心理臨床学の専攻主任として、専攻の教育・研究環境の整備、さらには、専攻の管理運営にもご尽力をいただきました。改めて感謝申し上げます。とくに、学生たちの教育・研究に熱心な指導をいただきました。臨床心理士資格試験に多数合格できたのも、先生のご指導の賜物とお礼申し上げます。

本研究紀要には、教員の論文が4本、大学院生・研修生の論文が4本、掲載されています。いずれも力作で高い社会的評価を得るものと思います。今後のさらなる発展につながっていくものと期待しています。

おわりに、もう一度、丸島先生のこれまでのご功績に感謝申し上げるとともに、先生の今後のご活躍とご健康をお祈りして、ごあいさつとさせていただきます。